

地中海古代都市の研究 (116)

イオニア・コリント式オーダーにおけるフリーズ装飾のモチーフに関する研究

正会員 ○中村重陽³⁾ 伊藤重剛¹⁾ 林田義伸²⁾ 吉武隆一³⁾

9. 建築歴史・意匠—4. 西洋建築史

ギリシア オーダー フリーズ 装飾 モチーフ

1. はじめに

古代ギリシア・ローマ建築において、イオニア・コリント式オーダーにおけるフリーズにはしばしば装飾が施されているが、そのモチーフは様々である。装飾のモチーフには、忍冬模様や花綱模様などの植物模様、神や人物などの彫像、文字もしくは無装飾などがあり、その選択には何らかの意図があると思われる。そこで本研究では、ギリシア・ローマ期におけるイオニア・コリント式の建築物を網羅的に調べ、そのモチーフについて地域ごとの特徴や時代的な変遷、また建物の用途や機能とモチーフとの関連性などを明らかにすることを目的とする。

資料として、紀元前6世紀頃から紀元後6世紀までのギリシア・ローマ時代に建てられた建築物を取り扱う。忍冬模様や花綱模様などの装飾は必ずしもフリーズのみにほどこされる訳ではなく、扉のまぐさ部分や墓の壁面などにもしばしば見受けられるが、今回の研究では最も視覚的に影響を及ぼすであろうフリーズに限って考察を行うこととする。

2. 地域の分布

まずはフリーズ装飾の基礎資料作成にあたり、調査報告書や文献などから図面を収集した。図面が見つからないものに関しては、文献中の写真からオーダー部分が確認できるものに限って全て資料に含めることとした。

そのようにして今回集めることのできた資料の総数は240例であった。この数は、現存する遺跡の総数などから考えても決して十分であるとは言えないが、あ

る傾向を示すには不可能な数ではないと思われる。それを地域別に、年代ごとにまとめたものが表1である。トルコ・ギリシア・シリアを除き、残りをヨーロッパ、トルコより東側地域、北アフリカに区分して比較してみると、最も多かったのがトルコの74例で全体の約31%を占めている。残りの5地域はだいたい同じくらいの分布を示しており、イオニア・コリント式の建築物は地域に隔たりなく建設されていることが分かる。

3. 年代の分布

全体を通してみると、紀元前6世紀頃から建てられはじめたイオニア・コリント式の建築物は2世紀頃に最盛期を迎えることが明らかとなった。ただし、それぞれの地域において最盛期に多少のばらつきがあることが確認できる。ギリシアでは紀元前4世紀頃に初めのピークを迎えその後減少していくが、2世紀に再び多くの建築物が建てられている。似たような傾向を示しているのがトルコであり、紀元前2世紀に初めのピークがあった後、2世紀頃に最盛期を再び迎えている。また、イタリアを中心とするヨーロッパでは、そのちょうど中間あたりの1世紀が最盛期である。これらに対して、シリアやトルコ東部の中東地域、北アフリカでは、紀元前にはイオニア・コリント式のオーダーをもつ建築物はほとんど建てられておらず、いずれも2世紀から3世紀にかけてが最盛期となっている。

4. タイプの分類

今回集めた資料を大まかに分類すると、図aから図

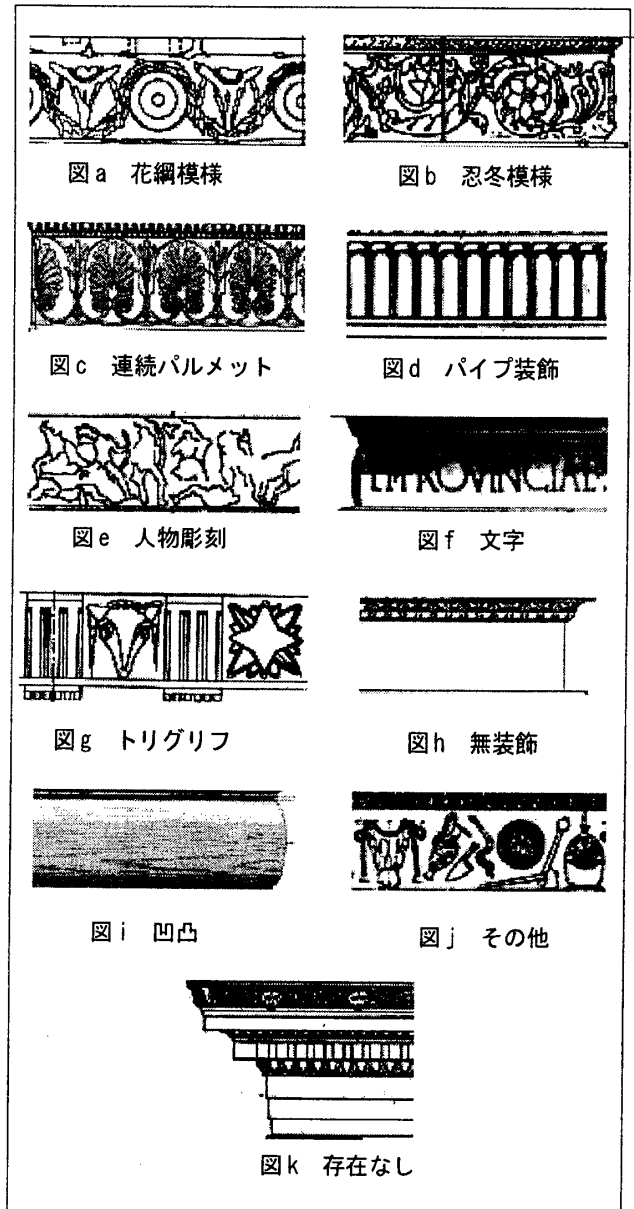
表1

	B.C.6C	B.C.5C	B.C.4C	B.C.3C	B.C.2C	B.C.1C	A.D.1C	A.D.2C	A.D.3C	A.D.4C	A.D.5C	A.D.6C	計
トルコ	1	2	5	4	15	7	3	30	3	4			74
ギリシア	2	4	7	6	3	2		10	1		2		37
シリア						1	5	20	5	2	2	1	36
ヨーロッパ		1		1	3	17	6	4	4				36
トルコ以東					3	4	8	13					28
北アフリカ			1	1	1		6	8	11	1			29
計	3	7	13	12	25	31	28	85	24	7	4	1	240

A Study of Ancient Cities of Mediterranean (116) A Study of Motif at Ornamental Frieze of Ionic and Corinthian Order

NAKAMURA Shigeaki, ITO Juko, HAYASHIDA Yoshinobu, YOSHITAKE Ryuiti

kの11パターンに分けられる。図kにおいてはフリーズは存在せず、エンタブラチュアの上にそのままコーニスが乗る場合であり、サンプルからはずすか図hの無装飾にいれることも考えられるが、このタイプはそれらとは違った傾向を示すので今回は別のものとして取り扱うこととした。図aは花綱模様であり、草花や木の葉、果実などを編み込むように束ねた物を、横に綱のように張り渡した装飾モチーフである。両端にはアモリーノ(キューピット)、杯、ブクラニウム(牛頭装飾)などが配され、花綱部分はあたかもそれらに支えられているかのように緩い弧をなして垂れ下がるように表現される。図bは忍冬模様であり、蔓状の植物が渦を巻きながら連続していくように表現される。渦の真ん中には花や人物がほどこされることもある。図cは連続パルメットであり、通常パルメットとロータスの花が交互に並ぶ。この装飾はフリーズよりもむしろシーマによく見られるものである。図dはパイプ装飾とここでは呼ぶことにする。これは半分に切断したパイプのような形状の装飾が連続して並ぶもので、エジプトでよく見られるモチーフである。図eは人物彫刻で、しばしば神話がモチーフにされている。これはドリス式の内側のフリーズにも用いられるもので、その最も有名なものはアテネのパルテノン神殿に見られる。図gはドリス式で一般的にフリーズにほどこされるトリグリフが、イオニア・コリント式柱頭に乗っているタイプである。ドリス式では間に人物彫刻がほどこされることが多いが、図hは全く何の装飾も、変形ももたないものである。図Iは何装飾な場合に、反りやむくりなどの凹凸がつけられているもののことをさす。図jはそのいずれにも当てはまらないタイプのものであり、例としてあげているローマのヴェスパシアン神殿では、牛頭の骸骨や、ナイフや斧、ヘルメットなどの装飾が雑然と並んでいる。



ほどこす予定だったものが、そのまま手を加えられることなく放置されていた等の要因も考えられるので、h無装飾が最も一般的であったとは言えないが、ある程度の数が存在していたことは明らかである。次に多かったものがb忍冬模様の51例であり、全体の約21%を占める。特にトルコとそれより東部の地域に多く

5. 地域ごとの特徴

これらの装飾を地域ごとの分布としてまとめたものが表2である。これから明らかになったことは、最も多かったものはh無装飾の54例であり、全体の約23%を占めている。これは、当時は存在した装飾が剥がれて無くなってしまっているものや、その後に装飾を

表2

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	計
トルコ	12	16	9	6	4	3	2	8	5	3	6	74
ギリシア	3		4		4	2	1	13	4	1	5	37
シリア	2	13					2	7	9	3		36
ヨーロッパ	7	4	2		3	2	3	11	1	3		36
トルコ以東	3	13		2			3	3	2	2		28
北アフリカ	1	5				4	2	12	4	1		29
計	28	51	15	8	11	11	13	54	25	13	11	240

分布し、驚くべきことにギリシアでは一つも見受けられなかった。これはフリーズに限ったことであり、このモチーフがギリシアでは好まれていなかった訳ではないであろうが、少なくともイオニア・コリント式オーダーのフリーズに用いることはあまり一般的でなかったと推測できる。その次に多いのはa花綱模様で、28例存在した。(全体の約12%) このモチーフもギリシアではあまり多く存在せず、半数以上がトルコとヨーロッパ(特にイタリア)で占める。先ほどの建設年代で似たような傾向があったギリシアとトルコであるが、モチーフの選択にはかなり異なった傾向を示していることがここからだけでも明らかである。ギリシアでは無装飾や凹凸のみといったシンプルなものが多く存在しているのに対して、トルコではa花綱模様やb忍冬模様が好んで用いられていることが分かる。

その他のモチーフについてはサンプル数が少ないこともあり、明確な結果は得られなかったが、c連続パル

メット、e人物彫刻、f文字についてはギリシア・トルコ・ヨーロッパでしか見られなかった。kフリーズそのものが存在しない例はギリシアとトルコにおいてのみ存在し、その他の地域まで広く分布していないことが分かる。

6. 年代ごとの特徴

今度はそれぞれの装飾について、年代ごとの様子をまとめたものが表3である。大体のモチーフがやはり全体の傾向と同じように2世紀頃に集中しているがc連続パルメットとe人物彫刻については紀元前に多く分布している。これは先ほどのギリシア・トルコ・ヨーロッパでしか見つけられなかったことと関連しており、おそらくギリシア、ヘレニズム時代の初期に多く用いられたものなのであろう。

最も数の多かったh無装飾とb忍冬模様については圧倒的に2世紀に偏っており、ローマ時代に広く分布

表3

	B.C.6C	B.C.5C	B.C.4C	B.C.3C	B.C.2C	B.C.1C	A.D.1C	A.D.2C	A.D.3C	A.D.4C	A.D.5C	A.D.6C	計
a				3	8	5	3	6	2				27
b				1	3	5	5	30	4	2	2		52
c	1	1	1	2	3	1	1	5					15
d								7		1			8
e		4	2		2	1	2						11
f						1	1	6	2	1			11
g			1	1	2	4	1	3		1			13
h			2	4	5	7	7	16	9	1	2	1	54
i			2		1	1	3	11	6	1			25
j			1			3	1	5	3				13
k	2	2	4	1	1			1					11
計	3	7	13	12	25	28	24	90	26	7	4	1	240

表4

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	計
神殿	14	20	7	3	4	4	3	20	13	6	8	102
門	2	12	1		4	1	1	10	4	5		40
墓	2	1	1	1	1		2	1	3	1		13
ストア	1	3	2			1	2	4				13
劇場	1	5		1		1	1	2	2			13
住宅		4					1	3		1	1	10
記念碑	1		1		2	1		2				7
祭壇	2		1					1			1	5
泉		2				1		4				7
運動場	2	2		2				1				7
浴場	1	1	1					1				4
教会						2			1			3
図書館		1		1				1				3
その他	1	1	1				3	4	2		1	13
計	27	52	15	8	11	11	13	54	25	13	11	240

したことが推測できるが、次に多いa花網模様に関しては、それらと傾向が少し異なり、紀元前2世紀頃からコンスタントに用いられている。またdパイプ装飾に関しては紀元前には存在せず、2世紀に初めて登場する。

7. 建物の用途別の特徴

今回の資料をその用途別に分類し、モチーフごとに分類したものが表4である。ここでは建物の機能とモチーフの選び方に関連性があるのかどうかを検証するためのものであるが、神殿が圧倒的に多いため単純に比較することは難しい。しかしこれだけの総数においても、ある程度まんべんなくモチーフが採用されており、その選択には機能的な要求はあまり存在せず、むしろ時代的、地域的な観点から決められたと考えるほうが自然であるだろうと思われる。

5. まとめ

以上のようにイオニア・コリント式オーダーにおけるフリーズ装飾を統計的に調べた結果、以下のことが明らかになった。

①イオニア・コリント式の建築物紀元前6世紀頃から建てられ始めるが、2世紀頃その最盛期を迎える。しかし、それらは地域ごとで異なり、ギリシア・トルコが似たような傾向をもつ。

②フリーズ装飾のモチーフには花網模様、忍冬模様、連続パルメット、パイプ装飾、人物彫刻、文字、トリグリフ、無装飾、凹凸、などがあるが、無装飾が最も多く存在し、次に忍冬模様、花網模様と続く。

③モチーフは、その地域によって分布が異なり、トルコでは花網模様や忍冬模様など華美なものが多く、ギリシアでは無装飾や凹凸といったシンプルな装飾が多い。

④無装飾と忍冬模様については2世紀に偏って分布し、花網模様は紀元前2世紀頃からまんべんなく分布している。

⑤連続パルメットと人物彫刻は、ギリシア・トルコ・ヨーロッパ地方の紀元前に多く分布しており、花網模様などのように各地へ広がることはなかった。

⑥建物の用途によっては、モチーフの選択に違いが見られず、特にそれらの間には関連性がなかったと思われる。

今回の研究では取り扱わなかったが、資料を集めていくうちにフリーズだけでなく、エンタブラチュアやコーニスにも多くの類似する装飾モチーフが使われており、それらにも地域ごとの傾向が見られることが明らかになってきた。今後はそれらと関連づけて比較検討できれば、さらに明確な特徴が導き出せるのではないかと考える。

注

- 1) アスクレピオス神域のストア メッセネ (ギリシア)
- 2) メゾン・カレ ニーム (フランス)
- 3) メタポントゥ神殿 メタポントゥ (イタリア)
- 4) ギムナシオン ペルガモン (トルコ)
- 5) ニケ神殿 アテネ (ギリシア)
- 6) 泉 ミレトス (トルコ)
- 7) トロス プラエネステ (イタリア)
- 8) ゼウス神殿 マグネシア (トルコ)
- 9) プロピロン パルミラ (シリア)
- 10) ヴェスパシアン神殿 ローマ (イタリア)
- 11) アテネ神殿 プリエネ (トルコ)

1) 熊本大学助教授 工博
2) 都城工業高等専門学校教授 博 (工)
3) 熊本大学大学院自然科学研究科

Assoc. Prof., Kumamoto University, Dr. Eng.
Prof., Miyakonojo National College of Technology, Dr. Eng.
Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University